

<講座報告>

**C チーム国府の取り組み～ビジョントレーニングやコグトレを取り入れて～**

**和泉市立国府小学校 徳永 清恵先生、水上 涼太先生、岸本 沙織先生**

3つの実践活動について報告されました。

1. 学校全体での取り組み

- ・ 国府小学校では毎学期に図形を模写したり、漢字や文字、文章の聞き取りを行う「気づきのためのテスト」を実施。児童の弱さを早期発見し、適切な対応につなげているそうです。
- ・ ビジョントレーニング（目の体操）を全学級において、朝学習等で実施、児童の状況に応じてコグトレプリントも宿題や隙間時間の課題として行い、それでも改善が見られない場合、通級指導や支援学級につなげているそうです。

2. 支援学級児童のトレーニングの様子

- ① 言語発達が遅い2年生児童の例→タングラムパズルで認知能力、バランスボールで体幹、数の概念を入れるために数字、ドット、指を組み合わせたプリントを作成されています。100玉そろばんで数える練習、タブレットのアプリ「楽しい日本語練習」も活用されています。

⇒形の見分け、向きを変えても理解できました。数字も10までの概念を理解し、書けるようになりました。足し算もドットを用いてできるようになったそうです。

② 目の動きが気になる1年生児童の例

人間関係のトラブルが多く、観察すると読み飛ばしや読み誤りが多かった例。

→ゴム付きお手玉、コロコロキャッチ、ナンバータッチ、目の体操を行うことで

⇒読み誤りや読み飛ばしが少なくなった

そうです。

3. ミニ集団でのコグトレ

- ・ 柔軟体操
- ・ コグトレ棒を使った様々な運動。
- ・ マネっこ体操
- ・ SSTトレーニング  
などの集団での取り組みについて実践報告されました。



4. 質問より

- ・ どういう経緯で「気づきのためのテスト」を実施しているのですか。

→座れない、立ち歩き、エスケープ、集団に交われない等の学習以前の状況の児童が多かったため、その子に対する指導を充実させる一環として実施しました。低学年から実施することで、高学年での困り感が激減しました。